

平成24年度第5回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成24年 8月22日（水） 午前10時
場 所 教育委員会 第一会議室

< 議 事 >

議題17号 平成24年度教育委員会所管9月補正予算(第3号)について

<可決する>

事務局：勤労青少年ホームの耐震診断結果に基づく耐震改修工事及び建物の老朽化に伴う改修工事を行うための実施設計費用を予算化するものです。

委 員：主な改修箇所はどこですか。

事務局：具体的には、外壁補修、タイルの補修、屋根の補修、体育館の補修、網戸の補修、内装等の補修を行う予定です。

委 員：特定財源は、国からの補助金ですか。

事務局：東日本大震災発生を受けて、公共施設の耐震化工事に対して、補助、交付金が交付されるようになりました。設計費の耐震部分について、1/3の補助金交付の予定です。また、改修は、市の単独負担であります。今のところ、概算では、耐震化工事に1,600万円、改修工事に1,800万円程度を見込んでおります。

委 員：工事は来年度ということですが、期間はどのくらい掛かるのですか。

事務局：設計が3ヶ月から4ヶ月くらいで、改修工事が同じく3ヶ月から4ヶ月くらい見込んでおり、来年度中に終了する予定です。

また、工事期間中は、開館しながら工事を行う考えであります。

議第18号 天童市教育委員会事務局及び教育機関等の組織規則の一部改正について

<可決する>

委 員：統括専門員は、各課に1人配置なっているのですか。

事務局：統括専門員については、教育委員会では、生涯学習課のみ1人配置になっております。

委 員：新旧対照表の中で、統括専門員の職種が上司の命を受けて特定事務に関する事務を整理するとなっていて、他は処理するとか従事するとなっておりますが、仕事の違いがあるのですか。

事務局：統括専門員は課長補佐クラスで、特定事務に関する事務を整理するという事で、単に事務を処理することではなく、重い責任があるということです。

議第19号 天童市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

<可決する>

委 員：この度の議案については、法令審査会に諮るのですか。

事務局：市議会に提案する議案ですと法令審査会に諮るのですが、条例改正

を伴わない規則等は、教育委員会で協議し、議決後告示するものです。
委員：第2条 館長は専決できる。ただし、重要または異例に属するについては、この限りではないとありますが、この限りではないという表現は、どういうことなのか。

事務局：重要な事項については、教育長の決済や委員会の議決を受けなければならないことを意味しています。法律用語の表現であります。

議第20号 天童市における個人演説会を開催することのできる施設の設備の程度の一部改正について

<可決する>

事務局：市中央公民館を市民文化会館に統合するため、天童市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正を行ったことに伴い、関係する告示の条文の整理を行うものであります。

協議事項 新成人を祝う会のあり方について

委員：開催日のアンケートの結果について、日曜日が37.7%、土曜日が17.4%ということですので、翌日が休みの日がよいという人が55%ということになると思うのですが、どうでしょうか。

事務局：自由記載の欄にもあるとおり、現在の月曜日の式典では、欠席もしくは式典のみの参加しかできない。翌日が休みだと社会人は忙しくなくてよいという意見があるように、翌日が休みの日曜日開催の意見があるようです。

委員：開催日の設定については、拮抗しているようですが、アンケートの対象者がほとんど市内の方で、県外の方の意見も何うと圧倒的に次の日が休みの日にしていただきたいという結果が出てくるのではないかと思います。

委員：毎年、成人の日が近づくと次の日が休みになると助かるという声が聞こえてきます。県外の人にとっては、次の日が休みですと気持ちにも余裕を持って参加できると思います。

委員：午前中の時間帯ですと着付けするのに朝早く予約しなければならないので大変だと多くの女の子の親御さんから聞かれます。

委員：県外の方にアンケートをとると正月にやってほしいという結果がさらに増えるのではないかと思います。

正月に帰省して、10日後にまた帰省しなければならないとなると交通費も大変である。正月も一つのターゲットになると思います。

事務局：アンケートでも正月に帰省して、10日後にまた帰省しなければならないとなると大変であるという意見があります。

また、お盆に開催してはどうかという意見もあります。

委員：お盆に開催するのは反対です。人生の節目であれば、きちんとした服装を行う冬のほうがふさわしいのではないかと思います。正月の1月2日も選択肢の一つになると思います。

委員：翌日が平日の条件の中で、出席率が8割なのはすごいと思います。出席しやすいのは正月やお盆もありますが、今の状況で、日曜日に変

更したらどうかと思います。

人生の節目であるので、一生に一度だけ正月に帰省して、10日後にまた帰省してもいいのではないかと思います。

委員：翌日が平日であっても8割の出席率があるのは、ホテルでの開催が大きな魅力のひとつになっているのではないかと思います。

委員：実行委員会は公募で選ばれていると思いますが、これからも公募を行っていくのでしょうか。

事務局：今後も市報により公募を行い、実行委員会を組織して実施していく予定であります。

委員：実行委員会形式で、若い人たちが自分の式を自分たちが行う意識を持っていただければ良いと思います。

委員：新成人を祝う会の趣旨、目的は昔から変わっていないようです。ぜひ続けるべきであると思います。日程的にも一生に一度だけならば、二往復しても成人の日に近いほうがよいという意見に賛同いたします。

会場の問題ですが、昨年の状況ですと、安全性の高い会場が望ましいと思います。

また、ビデオメッセージについては、本人から直接のメッセージですと盛り上がるのではないのでしょうか。

委員：実行委員の裁量はどの辺までまかされているのですか。

事務局：実行委員になる人は、実際に式典を見たことがないので、前年のビデオを観てもらって、ある程度自分たちがやりたいものを考えて行っただけです。

委員：ホテルで行うことの意義をもう少し強調しても良いのではないかと思います。

事務局：今まで午前中行っていましたが、日曜日ですと午前中に出初式が行われますので、午後からの開催を考えています。祝い事を午後から行っただけは悪いということはないのでしょうか。

委員：会社の式典も午後の夕方から行う場合があるので、午後からの開催でもよいのではないのでしょうか。

委員：結婚式も夜に行うこともあるし、迷信に左右されないほうが良いのではないかと思います。